



## 東日本大震災復興の架け橋 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

第71回国民体育大会 2016 希望郷 いわて国体  
第16回全国障害者スポーツ大会 2016 希望郷 いわて大会

平成28年10月1日(土)~10月11日(日)  
(水泳競技は平成28年9月4日(土)~9月11日(日))

平成28年10月22日(土)~10月24日(日)

### 会場地市町村一覧

- 国体本大会 正式競技、特別競技 ●国体 公開競技 ■国体 デモンストレーションスポーツ
- ★全国障害者スポーツ大会 正式競技 ◆全国障害者スポーツ大会 オープン競技

- #### 八幡平市
- テニス(少年)
  - 相撲
  - ライフル射撃(CP除く)
  - ラグビーフットボール(少男)
  - ゴルフ(女子、少男)

- #### 一戸町
- なぎなた
  - ターゲット・バードゴルフ
  - ◆ペタンク

- #### 岩手町
- ホッケー
  - 少年少女ホッケー
  - ゴルフ(成年)

- #### 盛岡市
- 水泳(競泳)
  - 水泳(飛込)
  - 水泳(水球)
  - 水泳(シンクロナイズトスイミング)
  - サッカー(成年、女子)
  - テニス(成年)
  - 体操(競技)
  - ライフル射撃(CP)
  - 山岳
  - カヌー(スプリント)
  - 空手道
  - ボウリング
  - 高等学校野球(硬式)

- #### 盛岡市
- ビリヤード
  - 武術太極拳
  - ★水泳
  - ★フライングディスク
  - ★ボウリング
  - ★グラウンドソフトボール
  - ★サッカー
  - ◆ビリヤード
  - ◆卓球バレー

- #### 平石町
- アーチェリー
  - 3B体操
  - ★アーチェリー

- #### 西和賀町
- 屋内雪合戦

- #### 花巻市
- サッカー(成年)
  - ボート
  - バレーボール(少年)
  - ハンドボール
  - ソフトボール(成年、少女)
  - クレー射撃
  - 高等学校野球(硬式)

- #### 花巻市
- 綱引
  - ゲートボール
  - リレーション3
  - ★ソフトボール
  - ★フットベースボール
  - ★バレーボール

- #### 北上市
- 陸上競技
  - 体操(新体操)
  - ソフトテニス
  - バドミントン

- #### 北上市
- エアロビック
  - ヒルクライム
  - フライングディスク
  - フタタク
  - ペタンク
  - ★陸上競技

- #### 奥州市
- ボクシング
  - バスケットボール(成年、少女)
  - ウエイトリフティング
  - 卓球
  - 馬術

- #### 奥州市
- 弓道
  - カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)
  - ★卓球(サウンドテーブルテニス(身)を含む)

- #### 二戸市
- 剣道

- #### 軽米町
- 軟式野球

- #### 洋野町
- 軟式野球
  - サーフィン
  - バークゴルフ

- #### 九戸村
- 軟式野球

- #### 久慈市
- 柔道

- #### 普代村
- 軟式野球

- #### 葛巻町
- 軟式野球
  - ネオホッケー

- #### 田野畑村
- マレットゴルフ

- #### 岩泉町
- 軟式野球

- #### 滝沢市
- サッカー(女子)
  - ダンススポーツ

- #### 矢巾町
- スポーツチャンバラ
  - ラジオ体操

- #### 紫波町
- 自転車
  - ◆ゲートボール

- #### 宮古市
- レスリング
  - セーリング
  - シーカヤックマラソン

- #### 山田町
- 高等学校野球(軟式)

- #### 大槌町
- ソフトバレーボール

- #### 遠野市
- サッカー(少男)

- #### 釜石市
- 水泳(オープンウォータースイミング)
  - ラグビーフットボール(成年、女子)
  - トライアスロン

- #### 住田町
- クレー射撃

- #### 大船渡市
- グラウンドゴルフ
  - ウォーキング
  - マラソン

- #### 陸前高田市
- ビーチバレー

- #### 金ケ崎町
- ソフトボール(少男)

- #### 平泉町
- パワーリフティング
  - インディアカ

- #### 一関市
- バレーボール(成年)
  - バスケットボール(成年、少男)
  - フェンシング

- #### 一関市
- スポーツ吹矢
  - バウンドテニス
  - ★バスケットボール
  - ★車椅子バスケットボール

いわて国体・大会承認第28-225号

## CONTENTS

- 01 Opinion「就任のご挨拶」  
商工中金 盛岡支店 支店長 山本 雅之 氏
- 02 平成28年度地区別懇談会
- 03 平成28年度市町村ネットワーク会議
- 04 東北・北海道ブロック中央会会長会議  
平成28年度岩手県中小企業組合士会通常総会  
平成28年度岩手県中小企業青年中央会通常総会
- 05 平成28年度岩手県中小企業青年中央会通常総会  
組合実施事業・中央会主催事業等紹介
- 06-07 I県自動車整備(商) IIジャグラ IIIワークライフバランスセミナー
- 08 平成28年度いわて食料産業クラスター協議会通常総会  
岩手うめもん!!ぐらんぶり2016
- 09 県自動車(商)、北上市十字路(商連)、染屋たきうら(手づくり村会員企業)
- 10 平成27年度「組合資料収集加工事業」先進事例の紹介
- 11 商工中金の事業紹介動画の公開について  
全国産業安全衛生大会2016in仙台 開催のご案内
- 12-13 希望郷いわて国体・いわて大会開催日程
- 14-15 岩手県内中小企業概況(6月)
- 16 中央会Information 県大会、全国大会、新春トップセミナー、主要日誌

## 「就任のご挨拶」

### 株式会社商工組合中央金庫 盛岡支店

#### 支店長 山本 雅之



このたびの春の人事異動により、盛岡支店勤務を命じられ、この程着任いたしました。岩手県中小企業団体中央会並びに会員の皆様には、平素より格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

出身は神奈川県・横浜市です。商工中金に入庫後、横浜や東京・大阪・富山などで勤務してまいりました。東北地方での勤務は今回が初めてとなります。

東京在勤中はいくつか本部に在籍しました。資金為替部署では、外国為替の市場取引等を、調達部署では個人顧客向けの預金商品等の企画・販売に携わりました。管理部署では東日本大震災を踏まえたBCP体制の見直しに取組み、得難い体験をしました。

こうした経験を活かし、岩手県の企業の皆様の期待にお応えできるよう努力していく所存です。今後ともよろしく願いいたします。

さて、県内の景気は高水準の震災関連の公共工事や設備投資の緩やかな増加等から、「基調としては緩やかな回復を続けている」と判断されておりますが、足元では停滞感が広がっており、人手不足の影響等もあって、中小企業の業績や資金繰りは依然として楽観できない状況にあります。また、将来的には、本格的な人口減少社会の到来や一層のグローバル化により、中小企業の経営ニーズは高度化・多様化が進むことが考えられます。

こうした状況下で、私ども商工中金は世界経済の減速や東日本大震災等により資金繰りに影響が出ている中小企業の皆様に、危機対応業務の指定金融機関として、引き続きセーフティネット機能の発揮に最大限の対応を図ってまいります。また、「成長・創業支援」においては地域金融機関と協調してリスクマネーを供給して、地域活性化を促進し、「再生支援」においても各支援機関との連携を一層強化して取り組んでまいります。

なお、幣金庫は今年12月で80周年を迎えるのを機に、事業紹介動画をホームページで公開しております。県内企業様にもご登場いただいておりますのでご覧いただけると幸いです。

結びに、岩手県中小企業団体中央会様ならびに会員の皆様の益々のご発展を心から祈念いたしますとともに、今後のますますのご指導とお引立てを賜りますようお願い申し上げます。



## 地区別懇談会を県内8地区・9会場で開催

本会では、6月24日から7月15日の間に県内8地区・9会場において地区別懇談会を開催した。当懇談会は、県内各地域・業界における中小企業の課題に応えるため、県内中小企業組合の代表者と中央会役職員による意見交換を行うもので、寄せられた意見は本会が行う国・県に対する中小企業政策・施策要望に反映する。

懇談では、東日本大震災から5年が経過するが、復旧・復興の程度は地域や事業者により様々であることから、各ステージに応じた支援が必要であることや、喫緊の課題として挙げられている人材不足対策などについて検討を重ねることができた。

下記は、懇談会において協議された主な政策要望事項の一部抜粋である。

### ○復興支援関係

#### (1) 復興財源確保と予算措置

→被災地の復興段階に応じた柔軟かつ迅速な対応。

#### (2) 復興工事予定価格（発注額）の引き上げ

→実勢価格に見合った積算単価の変更及びゼロ国債の活用等による発注時期の平準化。

#### (3) グループ補助金の継続等

→認定グループが共同で取り組む新商品開発・販路開拓事業等に対する補助事業の創設。

#### (4) 被災地の外国人技能実習生の受入拡大

→外国人技能実習制度における受入人数枠や年数の拡大等について、構造改革特別区域制度の柔軟な運用。

### ○地方創成関係

#### (1) 中小企業の事業継続に向けた公共事業費の確保

→国土強靱化基本計画等に基づき社会資本の計画的整備、中小企業の活用。

#### (2) 「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助事業」の継続、生産性向上支援

→全国で2万件を越える応募、高いニーズ有り。

#### (3) 地域中小企業の人材確保・育成に対する支援

→地方の人材確保は依然として困難。また後継者の資質向上等も課題。

#### (4) 中小商業の活性化支援の継続・拡充等

→にぎわい補助金等の再予算措置、意欲有る商業者を支援する新たな補助制度創設。

#### (5) 観光立国実現と東北へのインバウンド拡充等に向けた支援

→震災復興を絡めた東北観光の推進、プロモーションが必要。

### ○中小企業税制関連

#### (1) 多重化税の排除

→印紙税、揮発油税、酒税などは商品等の取引に対して課税される消費税との多重課税であり、利益確保の障害となっている。

#### (2) 復興特別区域法に基づく税制優遇措置の延長

→東日本大震災復興特区法に基づく設備投資減税等の税制優遇措置の延長。



【花北地区懇談会】



【盛岡地区(工業)懇談会】



【県北地区懇談会】



【県南地区懇談会】





## 東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会

### (東北・北海道ブロック中央会) 会長会議 開催

毎年、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、組合組織を基盤にして中小企業の安定的な振興発展をめざすことを目的に全国中小企業団体中央会が主催する「中小企業団体全国大会」での要望決議に向け、東北・北海道の7道県各中央会で構成する「東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会」による会長会議及び事務局代表者会議が7月19日に青森県青森市の「南部屋海扇閣」において開催され、本会からは谷村会長、菅原専務理事をはじめ3名が出席。



会議の様子

会議は2部構成となっており、最初に各道県専務理事・事務局長を出席者とする事務局代表者会議が開催され冒頭、来賓の全国中央会高橋専務理事から挨拶の後、青森県中央会馬場専務理事を座長に各7道県中央会からの特にも新規及び変更のある要望事項について意見交換等が行われ、原案が取り纏められた。

続いての会長会議では、各道県の会長及び専務理事、事務局長も一堂し、幹事県の青森県中小企業団体中央会蝦名会長、全国中小企業団体中央会大村会長の2人から冒頭に挨拶の後、蝦名会長を座長に審議が進められ、要望原案について満場一致の承認により、来る10月19日に石川県金沢市で開催される全国大会へ東北・北海道ブロックの要望事項として提出することを決定した。

なお、本会からは特別要望とする復興支援関係5項目のほか、「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金の継続」、「東北へのインバウンド拡充等に向けた支援」、「中小商業の活性化支援の継続・拡充」の3つの重点項目をはじめとする計21項目すべて採択された。

## 第21回岩手県中小企業組合士通常総会開催

岩手県中小企業組合士会（会員53人）の第21回通常総会が7月22日（金）、盛岡市のいわて県民情報交流センター「アイーナ」にて開催され、提出議案すべて原案どおり可決承認された。平成27年度の事業報告では、昨年10月に青森県八戸市の「八食センター」で開催された「東北・北海道ブロック中小企業組合士研修交流会」や、同じく昨年10月に仙台で開催された「中小企業組合士スキルアップ研修」への参加などについて報告がされた。また今年度の事業計画では、新幹線が開業した函館で10月に開催されるブロック中小企業組合士研修交流会の案内や、資質向上のためのスキルアップ研修会への旅費補助の活用奨励などの説明がされた。

なお任期満了に伴う役員改選では、理事7名、監事3名の選出が行われ、役員には、会長：似内裕司氏（花巻機械金属工業団地協同組合）、副会長：荒木健彦氏（協同組合南三陸ショッピングセンター）・菅原香氏（協同組合高田松原ショッピングセンター）、理事：杉山昇氏（協同組合盛岡南ショッピングセンター）・千葉文子氏（岩手県南生コン業協同組合）・佐藤岳夫氏（協同組合盛岡卸センター）・大和田治美氏（一関市水道工事業協同組合）、監事：泉田十太郎氏（けせんプレカット事業協同組合）・猪越文子氏・佐々木万里子氏が就任した。

総会では、新しく本組合士会会員となった村上誠さん（盛岡青果卸売協同組合）に「認定書」が授与されたほか、去る6月17日東京都で開催された全国中小企業組合士協会連合会通常総会に於いて、菅原香さん（高田松原商業開発協同組合）が優良組合士表彰を受賞されたことが報告された。

総会終了後に開催された組合士研修交流会では「6次産業化の県内事例について」をテーマに東北農政局認定6次産業化プランナーの高橋芳雄氏から講演をいただいた。講演では、6次産業化法に基づく事業計画の認定状況を、県内各地の認定事業の内容や取り組みの苦労話などを交えての興味深い内容で、貴重な話を聞くことができた。

組合士交流会終了後は、会場を移し講師も交えての懇親会を開催、活発に情報交換が行われた。



総会の様子



## 青年中央会 通常総会開催

### クラウドファンディングをテーマに青年部講習会を併催

7月20日(水)、盛岡市の「ななっく」7階ホールを会場に、岩手県中小企業青年中央会第39回通常総会を開催した。会員青年部から32名が出席。

岩手県商工労働観光部 経営支援課 総括課長 高橋毅氏、(株)商工組合中央金庫 盛岡支店長 山本雅之氏をはじめ、東北ブロック青年中央会・友好団体等多数から来賓のご出席を得た。

総会は、役員補充選挙を含む全4議案が審議され、全議案とも満場一致で可決承認された。特に、来年度に創立40周年を迎えるにあたり、各種記念行事を円滑裡に充実したものとすべく、役員を中心とした実行委員会を編成し鋭意協議を進めていくこととした。

総会終了後には青年部講習会を開催。最近、岩手でもポピュラーとなってきたクラウドファンディング(※) 群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語で、起業家等が製品・サービスの開発やアイデア実現などのため、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ること。必要な資金の調達だけでなく、多くの人へ向けて自身の製品・サービスを認知してもらうことも可能)をテーマに、その仕組みや活用事例に学ぶことで、受講者のビジネスや地域活性化プラン実現化の一助とした。

講演では、岩手に本拠地を置くNPO法人が、岩手の活性化に資す事業プランの支援を主眼に活動しているクラウドファンディング「いしわり」の取組状況について、NPO wiz 理事/COOの黒沢惟人氏を講師にファンドの基本的仕組みに始まり、現在話題となっている「マルカン大食堂運営存続プロジェクト」の進捗状況等の多岐に渡るお話を頂いた後、県内中小企業のクラウドファンディング活用事例として「喜久盛酒造仕込み蔵移転ファンド」の調達・運用の経緯を喜久盛酒造(株)代表取締役藤村卓也氏よりご講演を頂いた。



主催者挨拶とともに、新たに採択された「青年中央会綱領」を読み上げる佐藤 康 青年中央会会長



青年部講習会には、親会関係者も含め50名が参加



印象強いネーミングと味で全国的に話題の酒「タクシードライバー」

(日本経済新聞7月4日、6月25日より) インターネットで不特定多数から小口資金を調達するクラウドファンディング(CF)を活用するベンチャー企業が増えている。新製品開発や販売拡大の資金に充てることに加えて、消費者の評価を探る市場調査にも利用されている。2015年度の総額は約283億円。国内VB投資の2割に相当する規模に膨れ上がった(2012年度の4倍)。事業運営会社も約40社まで増え大手企業も参入している。自治体も支援をはじめており仙台市では東北では初の試みとなるCFを実施しやすいように中小企業の支援を展開している。





中央会では、組合事業及び組合員の経営力強化・経営環境対応などのために各種支援事業を行っております。中央会事業を利用した会員組合によるセミナー等の取組みをご紹介します。

## ◇ 岩手県自動車整備(商工) 「女性ファンをつくるための接客術」

企業が生き抜いていくうえで女性向けマーケティングの充実が求められてきており、女性顧客に選んでもらえる企業づくり等を目的に7月30日(土)、講習会が開催された。参加者は組合関係者ら約50名。

女性2人に1人が国内自動車免許を取得しており、長い間、男性一色だった自動車業界が女性の視点に目を向け始めた。業界では女性客市場の争奪戦が始まったと言われ、2015年日本の自動車販売数500万台のうち、約4割が軽自動車でありその内、女性ユーザーが7割を占める。「女性が求めるサービス」とは何か。「車への興味」がどこにあるか。今後、経営環境が目まぐるしく変化し競争が激化していく中で女性顧客を確保していくことは企業が生き抜くうえでとても重要であり下記4つのポイントに絞り講義が行われた。

①今の時代、女性に何がうけているのか? 「女性ユーザーの満足って?」②お客様はこんなサービスを期待している! 「女性ユーザーを獲得するコツ」③ホスタピリティ「女性のココロをつかめ～印象の大切さ～」④成功するポイント「勝ち組になる＝選ばれること」



講習会の様子①



講習会の様子②

## ◇ (一社)日本グラフィックサービス工業会岩手支部 「カメレオンコードによる新たな事業展開の模索」

パソコン・スマートフォン等電子デバイスによる情報伝達の進展や各種報告書の電子媒体による納品の定着等により、紙媒体を主たる営業分野としてきた印刷業は従来からの生存領域が著しく狭まっている。

当団体では、7月29日(金)盛岡市のホテル東日本において、こうした環境への対応策として、カラー印刷による2次元バーコードの一種である「カメレオンコード」と、コードに対応した多言語対応翻訳システムについて講習会を開催。会員各社の事業化の端緒として、観光地・商業施設等の案内板・ガイドブックの多言語対応化に向けた受注を目指すもの。

### 【カメレオンコードと翻訳システムの活用イメージ】





## 第1回多様な人材確保×経営革新セミナー 「経営戦略としてのワークライフバランス」

「第1回 多様な人材確保×経営革新セミナー」を7月19日(火)、盛岡市アイーナにて開催しました。本セミナーは、新卒採用に留まらず、中途採用を含め、昨今の企業の人材採用難の時代を乗り切るための戦略構築と企業の変革を促すことを目的に、全6回シリーズで開催するもので、第1回目は、「経営戦略としてのワークライフバランス」をテーマに、ワーク・ライフバランスの導入支援コンサルティングに定評のある株式会社ワーク・ライフバランスより、コンサルタント 田村優実氏をお招きし、ご講演を頂いた。

セミナーの要旨は次の通り

### 1. 勘違いされている「ワーク・ライフバランス」の意味

ワーク・ライフバランスのイメージは、「女性の働きやすい職場づくり」であるとか、「家庭と仕事のバランスをとること」、「ゆとりをもってほどほどに働くこと」等のように、職場のゆとり作りと勘違いされているが、本質的には、企業の時間効率や生産性向上を狙ったもので、仕事も生活も充実させるために、就業時間内にしっかりと結果を出す仕組みづくりがワーク・ライフバランスの本質的な狙いである。

### 2. 日本型労働の限界

日本型経営の特徴として、長時間労働の問題があり、長時間労働者比率では、先進7か国で、20年間連続最下位という状況で、世界から日本は「仕事ばかり」の生活を送っている国と認知されているが、一方で、労働生産性は、世界で第21位(2011年)、先進7か国中でこちらも最下位という現実がある。

日本は仕事に時間をかけているが、生み出す価値が低い国、残業時間はトップクラスで、仕事の成果は最低クラスという有り難くない状況を生み出している。

### 3. 「ワーク・ライフバランス」の導入が不可避である理由

日本経済が世界第2位までに成長した要因は、人口動態の要因が大きく、戦後のいわゆる人口ボーナス期(生産年齢人口が増加)の状況を享受し、作れば売れる需要超過経済の時代で、企業経営のセオリーとしては、「男性が働く」「長時間働く」「同じ条件の人を揃える」ことが最も成果の出るやり方であった。

現在、生産年齢人口が減少する人口オーナス期が本格化し、会社の中核を担う団塊ジュニア世代が介護休業を取らざるを得ない大介護時代にも突入した。この様に企業の人材確保を進める上で、男性も含め「長時間働く職場」から「働き続けられる職場」への変革が不可避であり、これまでの全く逆の発想である「男女」「効率よく」「多様性」といったダイバーシティ経営への転換が企業の共通課題である。

### 4. 今後求められるマネジメントとは

- ①ワーク・ライフバランスが必要な人はどんどん増えるということを念頭に置き、職場全体の仕事のやり方を見直すという積極的な対応が必要である。
- ②ワーク・ライフバランスは、限られた一部の人への福利厚生ではなく、経営戦略として企業の発展のための投資である。
- ③ワーク・ライフバランスという「新しい報酬」により、個別のモチベーションをあげ、成果に導く。
- ④自分自身のワーク・ライフバランスを実践し自己研鑽に励み、生産性を高める。



○講師 (株)ワーク・ライフバランス 田村 優実 氏



○セミナーでのワークの様子





## いわて食料産業クラスター協議会 平成28年度通常総会開催

7月28日(木)、ホテル東日本にて、いわて食料産業クラスター協議会平成28年度第1回理事会及び通常総会が開催された。

岩手県農林水産部流通課 6次産業化推進担当課長 高橋政喜様をはじめ、ご来賓のご臨席の下、会員23人中16人(委任状を含む)が出席。議事は全6議案が原案通り満場一致により可決。

任期満了に伴う役員改選では、会長に村井良和氏(岩手県パン工業組合 理事長:再任)、副会長に平井滋氏(岩手県酒造組合 会長:再任)を含む理事9人 監事1人 顧問3人が選出された。

総会終了後は、岩手県商工労働観光部産業経済課海外マーケット担当課長 阿部 博 氏を講師に迎え、「いわての食を世界市場へ」をテーマとして、食料品製造業の現状や県の取組み、県産食品の可能性などについて学ぶ講習会を行った。



通常総会風景

## 岩手うんめえ～もん！！グランプリ 2016 開催

(平成28年度 岩手県ふるさと食品コンクール)

7月16日(土)、本会では、いわて6次産業化支援センター事業の一環として、県流通課との共催により「岩手うんめえ～もん！！グランプリ 2016」を盛岡市のサン・フレッシュ都南にて開催した。

本グランプリは、県産農林水産物を使用し、その特性を生かした加工食品の優良事例を表彰、紹介することにより、6次産業化や農商工連携の推進、県産農林水産物の需要拡大を目的としたもの。昨年までの岩手県ふるさと食品コンクールから名称を変更、流通関係者による審査に加え、一般来場者の投票も行うなど、消費者への商品PRの機会ともなった。

県内の個人・団体等から県産農林水産物を使った加工商品44点が出品され、審査の結果、広田湾遊漁船組合(陸前高田市)の「いわて広田湾牡蠣(かき)のバーニャカウダ」が最優秀賞を受賞。来場者が選ぶ特別賞にも選ばれた。なお、受賞した作品は以下のとおり。



グランプリの様子

食品企業部門	◎優秀賞：藤勇十割麴みそケーキ(藤勇醸造、釜石市) ○優良賞：出汁三昧(佐々長醸造、花巻市)、山海のめぐみ青な んばん味噌(長根商店、洋野町)
個人・加工 グループ部門	◎優秀賞：いわて広田湾牡蠣のバーニャカウダ ○優良賞：くるみとハチミツのペーストとくるみのはちみつ漬 け(マタギ倶楽部、大槌町)、七色まん(田野畑レディース「虹 の橋」・田野畑村)
学校部門	◎優秀賞：雑穀スティック・カレー風味(水沢一高クッキング 部、奥州市)
奨励賞	和風南部スナックバター醤油(志賀煎餅、二戸市)、龍泉洞黒豚 の肉味噌(早野商店、岩泉町)



最優秀賞を受賞した「いわて広田湾牡蠣のバーニャカウダ」  
(広田湾遊漁船組合)





## 岩手県電気工事（工業）、県内工業系高等学校へ電材寄贈

岩手県電気工事工業組合（平野 喜嗣 理事長）と一般社団法人 岩手県電業協会（松橋 武志 会長）は、今年で9回目を迎える県内工業系高校等（盛岡工業・宮古工業・福岡工業・釜石商工・一関工業・千厩高校・黒沢尻工業・産技短水沢校・大船渡東高校・水沢工業 等）に対する支援事業として行っている電材の寄贈を7月4日（月）から順次、各支部で実施した。

この事業は、次世代を担う優秀な電気工事技術者・技能者の育成と銅資源の有効活用を目的に毎年この時期に実施している。

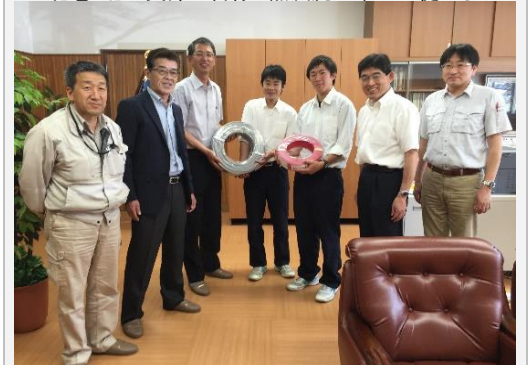
活動は、県内11支部において、現場で余った電線や配線器具等を回収し、地元高校等に寄贈し生徒らの資格取得に向けた取組みを支援するとともに実習等に役立てられている。

当該事業の実施により高校生の第二種電気工事士の受験者は県内全域に広がり、資格を取得した有望な若者が毎年誕生している。

少子高齢化時代における、慢性的な人材不足、技術・技能の継承が危惧される中、組合と協会の共同事業による高校への継続的な支援事業は、電気工事業界と高校生との相互に理解が深まることにより、課題の解決に向け着実な歩みを見せている。



花巻・北上支部の皆様と黒沢尻工業の生徒たち



遠野・釜石支部の皆様と釜石商工の生徒たち

## 北上市十字路（商振連）、「まちなかPRポスター」引渡式

平成28年7月9日（土）、北上市十字路商店街連合会（佐藤 実 理事長）は地元高校生らと連携して制作した「まちなかPRポスター」の引渡式が行われた。

同連合会は市街地活性化に向け、昨年秋から黒沢尻北、北上翔南、黒沢尻工、専大北上の4校と北上コンピュータ・アカデミーとの連携でポスターを制作。生徒ら計80人がプロジェクトに参加し、62店舗分の作品65点が完成した。

ポスターは8月16日（火）まで、さくら野百貨店4階で展示。北上市の本通り1、2丁目、新穀町、諏訪町の各商店街と、同百貨店などが入居するツインモールテナント会の各店にも掲示される。



「まちなかPRポスター」引渡式の様子

## 染屋たきうら、新工房落成式（協）盛岡手づくり村 組合員企業

平成28年7月15日（金）、盛岡市繫の盛岡手づくり村にある藍染工房「染屋たきうら」（滝浦麻理夫 代表取締役社長）は新工房の落成式を行った。落成式には関係者ら約40人が出席。（協）盛岡手づくり村の佐々木俊幸理事長が「手づくり村は今年5月に30周年を迎えたが、新工房の落成でまた新しい魅力が増えた。盛岡の手づくり文化の拠点としてこれからも関係者が手を携え支え合いながら発展したい」とあいさつした。

染屋たきうらは明治42年、花巻市石鳥谷町で創業した老舗の藍染工房。盛岡手づくり村がオープンした昭和61年に拠点を移し30年間藍染の実演や作業体験、製品の展示・即売などを続けてきた。

今年6月に4代目麻理夫氏が社長に就任。また、3代目輝夫氏は平成27年度に「現代の名工」に選ばれた。



落成式テープカットの様子



## 全国醤油工業協同組合連合会

### ～「出前授業」による食育推進と担い手人材の育成～

「食育」推進の一環として、全国の小学校に「しょうゆもの知り博士」を派遣して、「しょうゆのマジック！」をテーマに総合的な学習や家庭科、社会科などの授業時間を使い、出前授業を実施。通常の学校の授業では実現できない精度の高い企画と、専門知識をもった「しょうゆもの知り博士」役を担う所属員事業者の存在が継続的な事業活動を実現した取組み事例を紹介する。

#### 組合概要

組合名	全国醤油工業協同組合連合会	URL	<a href="https://www.soysauce.or.jp/kyougyou.html">https://www.soysauce.or.jp/kyougyou.html</a>	
住所	(〒103-0016) 東京都中央区日本橋小網町3-1-1 醤油会館内			
電話番号	03-3666-3286	FAX番号	—	
設立	昭和37年4月	出資金	2,925千円	
主な業種	醤油製造業を営む事業者をもって組織した事業協同組合又はその連合会	組合員数	48組合 (所属員 1,364人)	

#### ■事業活動の背景と目的

中小醤油製造事業者を所属員に有する当連合会は、大手メーカー5社とともに日本醤油協会を組織し、「醤油PR協議会(しょうゆ情報センター)」を設置。同センターにおいて「しょうゆ食育プロジェクト」をはじめとするPR事業の事務局を担う。業界では、少子高齢化や食の多様化を背景に、国内における醤油の生産量や所属員事業者そのものが減少するなか、中小・大手一丸となって食育の推進と醤油の価値の向上を目指すため、平成18年度より「しょうゆもの知り博士の出前授業」の取組みを開始した。

#### ■事業・活動の内容

「しょうゆもの知り博士の出前授業」は、食育プロジェクトの一環として、小学生を対象に学校に赴き、「発酵の不思議」をテーマに原料から醤油ができるまでの体験学習を提供する取組みである。授業の内容は、焦がした醤油の香りを嗅ぎ、原料を触ったり、ボトルに入れた「もろみ」の発酵の観察や醤油の味見など、『五感の活用』『実物の用意』『クイズ形式による双方向のコミュニケーション(対話)型』を特徴としており、子供達からは驚きの声や発想豊かな意見があがる。

出前授業を行う「しょうゆもの知り博士」は、当連合会の所属員事業者を中心に研修にて養成され、平成27年6月現在、47都道府県で計224名の登録がある。出前授業の実施にあたっては、実施を希望する学校からの申込みを事務局が一括して受け、博士の派遣手続きを行っている。10年目を迎えた平成27年度には年間581校で実施した。

授業内容を含めたオペレーションについては継続的に改善を行っており、学校へのアンケート調査や博士の情報交換会による意見を集約し、企画委員会で次年度に向けての改善事項を検討している。これらの取組みによって教材ボリュームや時間配分、機材の使用法の安全面等の対策を含め、事業精度の向上を講じている。

#### ■事業活動による成果

出前授業の実施によって、子供達の反応が「もの知り博士」役の地域の若手後継者等への大きな刺激となり、自らの仕事への理解や愛着を深め、モチベーションの向上につながるなど、将来の業界の担い手の人材育成や活性化に大きく寄与している。

また、出前授業を含む食育推進活動が評価され、「第2回食と農林漁業の食育優良活動表彰」(農林水産省主催)において企業部門の「消費・安全局長賞」を受賞した。

(全国中央会資料収集加工事業より抜粋) 全国中央会では共同事業の先進事例について毎年テーマを設定の上、各県中央会に候補組合の調査を依頼し、「先進組合事例抄録」として報告書をまとめると共に全国中央会のホームページにも掲載している。本事業は昭和57年度から開始され、これまで収録した組合事例は、延べ6,000組合を超えている。「先進組合事例抄録」の内容は、「組合事例検索システム」<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/default.aspx>で閲覧可能となっている。





# 関係機関からのお知らせ

## 商工中金の事業紹介動画の公開について

商工中金は、今年80周年を迎えるのを機に、その取組みに対する幅広い理解を目指して、その果たす役割・機能などを伝える紹介映像を制作、動画サイト「You Tube」に公開した。

商工中金による、こうした公開映像は初であり、製作したのは業務紹介編（約16分）と6編の取組み事例紹介編（各8分程度）。事例編では、中小企業の経営課題に対する商工中金の支援をわかりやすくストーリー仕立てで紹介した。今回のテーマは、「セーフティネット」、「地域活性化支援」、「ものづくり支援」、「海外展開支援」、「再生支援」、「女性活躍・地公体施策支援」。日本の企業数の99%、雇用の7割は中小企業によるもの。一般の方でも、地域活性化のカギを握る中小企業についてもわかりやすい内容となっている。

動画サイト「You Tube」のほか、商工中金ホームページの動画特設サイトでも視聴できる。

支援事例製作テーマ	事例紹介企業	映像時間
セーフティネット	橋爪商事株式会社（岩手県大船渡市）…建設資材等卸売業 東邦運輸倉庫株式会社（宮城県仙台市）…運送・倉庫業	8分7秒
地域活性化支援	ジャパンキャビア株式会社（宮崎県宮崎市） …キャビア製造・販売業	9分56秒
ものづくり企業支援	菊地歯車株式会社（栃木県足利市） …金属歯車製造業	7分53秒
海外展開支援	大裕鋼業株式会社（大阪府堺市） …鉄鋼業・コイルセンター	7分39秒
再生支援	前田製管株式会社（山形県酒井市） …コンクリート製品製造業	7分3秒
女性活躍・地公体施策との連携	株式会社大東紙工業（愛知県春日井市）…製本業	8分40秒

ホームページ動画紹介サイト（PC版）…<http://www.shokochukin.co.jp/syoukai/index.html>

（スマートフォン版）…<http://www.shokochukin.co.jp/sp/syoukai/index.html>

You Tube(公式チャンネル) …<https://www.youtube.com/channel/UCngWuivSeQ4HXyZyFhS-8FA>

## 第75回全国産業安全衛生大会2016in仙台開催のご案内

安全衛生活動に携わる人が、その経験と研究成果を発表し合う情報交流の場である「全国産業安全衛生大会」は、昭和7年から始まり今年で75回目となります。

今年は、東日本大震災から5年を経過した節目の年にあたることから、被災地である仙台で開催します。大会テーマは「築こう未来へ 安全と健康でつなぐ 復興の架け橋」とし、東日本大震災の復興のみならず熊本地震の復興への架け橋となるべく、なた、今後の労働災害防止に大きく寄与するものとなるべく多くの方のご参加をお待ちしております。

1日目の総合集会では安全衛生に功績のあった方々の表彰式、厚生労働省の講演、地元宮城県女川町出身の俳優・歌手 中村正俊さん、福島県喜多方市出身のフリーキャスター 唐橋ユミさんによる“故郷と復興への思い”をテーマにスペシャルトークを行います。

2日目、3日目は労働災害防止に関するテーマごとに分科会を開催します。

### 見どころ&聴きどころ

- 東日本大震災の教訓から企業、行政、研究機関の果たすべき役割を探るシンポジウム
- 新幹線の車内清掃といういわゆる3K職場を、世界が注目する新しい3K職場へと変革した講師による講演「安全を創る7つのキーワード」
- 東日本大震災から学んだ職場のメンタルヘルスについて語る講演 ほか



お問い合わせ先: 中央労働災害防止協会 教育推進部 企画課 Tel:03-3452-6402 fax:03-5443-1019

E-mail: taikai@jisha.or.jp 大会 HP: <http://www.jisha.or.jp/taikai/>







### 《 全国景況 》

6月は、英国のEU離脱が外需不振・グローバルリスクの拡大と円高圧力に一層の拍車をかけており、慢性的な実需不足に天候不順による需給不調等も相俟って、中小企業の先行きは海外市場の動向を含めて予断を許さない状況にある。

### I. 景況天気図（県内）…平成28年6月と5月のDI比較

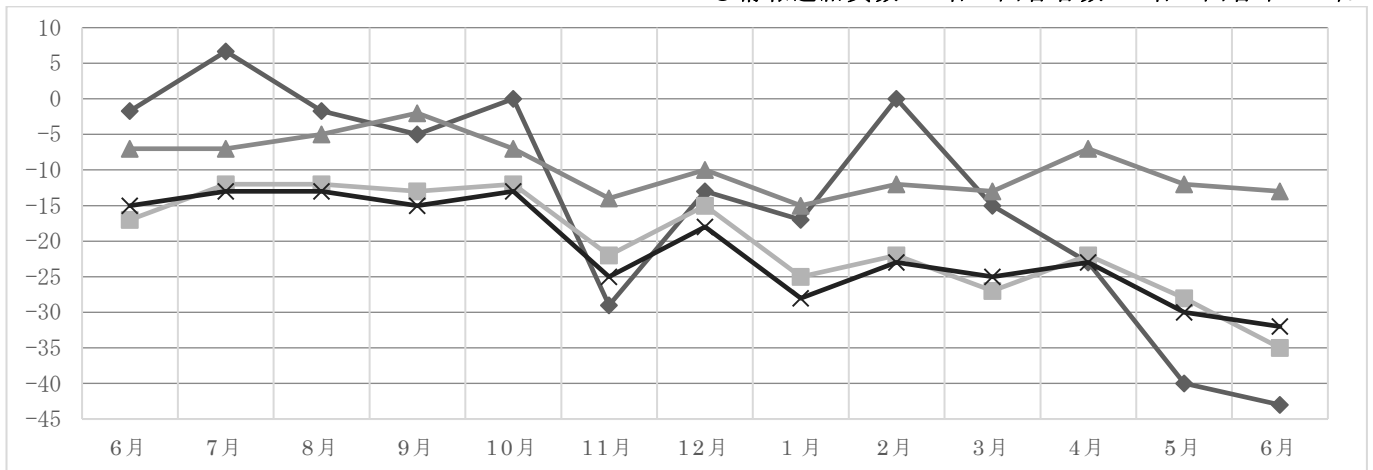
天気図の見方…各景況項目について「増加」「好転」業種割合から「減少」「悪化」業種割合を引いた値をもとに作成。その基準はただし、在庫数量はプラスの場合は雨、マイナスの場合は晴れの方向を表す。

平成28年 6月分	全産業			製造業			非製造業			30以上 
	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	6月	5月	前月比	
売上高	Δ43	Δ40	3P↘	Δ19	Δ10	9P↘	Δ56	Δ56	0P→	9~Δ9 
在庫数量	Δ21	Δ10	11P↘	Δ9	Δ5	4P↘	Δ29	Δ14	15P↘	Δ10~Δ29 
販売価格	Δ10	Δ7	3P↘	0	Δ5	5P↗	Δ15	Δ8	7P↘	Δ30~Δ49 
取引条件	Δ13	Δ10	3P↘	Δ10	Δ5	5P↘	Δ15	Δ13	2P↘	Δ50以下 
収益状況	Δ35	Δ28	7P↘	Δ29	Δ29	0P→	Δ38	Δ28	10P↘	
資金繰り	Δ13	Δ12	1P↘	Δ10	Δ19	9P↗	Δ15	Δ8	7P↘	
設備操業度	Δ14	Δ24	10P↗	Δ14	Δ24	10P↗	—	—	—	
雇用人員	Δ8	Δ5	3P↘	Δ10	Δ10	0P→	Δ7	Δ3	4P↘	
業界の景況	Δ32	Δ30	2P↘	Δ19	Δ24	5P↗	Δ38	Δ33	5P↘	

DI (Diffusion Index) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いた指数のこと。

### II. 全産業（県内）…平成27年6月～平成28年6月DI推移（売上高・収益・資金繰り・景況）

○情報連絡員数 60名・回答者数 60名・回答率 100%



平成28年6月DI 《 ◆…売上 -43 ■…収益 -35 ▲…資金繰り -13 ×…景況 -32 》

### Ⅲ. 各業種の概況（県内）…平成 28 年 6 月分

#### ◇漬物製造業

季節はずれの需要があったほか、業界での製品開発への取り組み効果もあり売上を維持。

#### ◇めん類製造

売上の減少に歯止めがかからず、状況は厳しく推移している。これから御中元商戦に向け生産増強の見込だが、人手不足も深刻化している。

#### ◇菓子類製造

ゴールデンウィークの需要も一服し、菓子の消費需要が落ち着いてきている。

#### ◇木材チップ製造業

針葉樹原木価格はバイオマス発電工場との競合により上昇気味となり、採算性が悪化している。

#### ◇印刷・同関連業

市場環境は厳しさを増し、プロでなくても印刷が可能になり、年々付加価値が低くなっている。

#### ◇生コンクリート製造業

地域的な偏りがさらに拡大。沿岸地区は官需、民需とも順調だが、他地区は一部公共工事の遅れもあり、全体的に減少している。

#### ◇銑鉄鋳物製造業

南部鉄器の中国人による爆買いはなくなったが、外国人消費者等への売上は高水準で推移した。

#### ◇金属製品製造業

今後の仕事量の推移は楽観できる状況ではない。受注価格も改善されておらず、適正な加工費・利益の確保には至っていない。

労働力の確保が難しい状況は継続している。

#### ◇畳製造業

盆前需要期に向けて受注が出てきている。

最近では地域の畳屋が無くなり、旧市町村単位では稼働している店が無くなったところもある。

#### ◇一般機械器具製造業

低調な状況で推移、足踏み状態が続いている。

#### ◇野菜果実卸売業

野菜は入荷量が減少で単価上昇。果物は平年並みの単価だが品薄状態が続いた。

卸売業者の取扱数量が減少傾向、加えて全国各地の気象状況の変動に伴う入荷量・価格相場の変動が激しくなっている。

#### ◇家庭用機械器具小売業

猛暑予想やオリンピック需要に期待しているが、エアコン等の品不足情報が出始めている。

#### ◇野菜・果実小売業

入荷量の減少は歯止めが効かず高止まり傾向で

ある。小売業態では産直のみ堅調であり、業務用食材納入分野での低迷が目立ってきた。

#### ◇酒・調味料小売業

販売数量・金額ともに前年比を下回ったところが大勢を占めた。ある程度は予想したものの低調な推移が続いている。

#### ◇燃料小売業

不需求期を迎えるなか供給過剰感があり値を下げている。小売価格への今後の影響が期待される。

#### ◇化粧品小売業

天候と夏のボーナス等が要因か、売上高・収益・業況とも僅かに良かった。

#### ◇食肉小売業

沿岸部は人口と工事関係者の減少で落ち込んだ。牛肉・豚肉の卸価格がさらに上昇しているが、小売価格の値上げができず苦慮している。

#### ◇商店街（盛岡市）

消費税 10%増税は先送りされたものの景気回復の兆しはまだない。

天気が良く祭り見物客で売上高・客数ともにやや上回った。北海道新幹線も上昇の要因と思われる。

#### ◇商店街（久慈市）

集客はあったが、売上は低迷している。

#### ◇自動車整備業

軽自動車の増加等車種構成の変化や次世代型自動車の普及が整備作業量の減少につながっている。また、仕入値や経費は膨らみ収益も低下している。

#### ◇旅館業

個人消費が低調で旅行需要が伸びない状況。

#### ◇飲食業

高速道路インターの開通により平日のサラリーマンが減少、土日の家族連れの来店が目立ってきた。

#### ◇旅行業

業界全体の環境は悪くないが、地方の中小企業者までは業容拡大に結びついていない実態である。

#### ◇塗装工事業

沿岸部の民需は徐々に低調へと推移している。

#### ◇土木工事業

復興事業や大型民間施設等の需要も減り、目玉物件もない状態。相変わらず地域的な偏在は大きい。

工種（設計）変更、団地問題、労働力不足により、出荷量減少。生コン車の減車の検討をはじめている。

#### ◇一般乗用旅客自動車運送業

売上高が減少傾向にあったが、減少幅が縮小。





## 第41回中小企業団体岩手県大会の開催について

下記日程にて開催を予定しておりますので、お知らせいたします。

- 開催日時 平成28年9月21日(水) 14:00～
- 開催場所 ホテル東日本 3階「鳳凰の間」(盛岡市)  
※詳細につきましては、後日改めてお知らせ致します。  
お問い合わせ先：統括管理部 (TEL019-624-1363)

## 第68回中小企業団体全国大会及びツアーのご案内

(全国大会)

- 開催日時 平成28年10月19日(水) 13:00～
- 開催場所 いしかわ総合スポーツセンター(〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北222)

(ツアーの概要)平成28年10月18日(火)～20日(木)

- 参加費用 シングルご利用：お一人様料金121,000円(ツインご利用：お一人様料金116,000円)
- 10月18日(火)  
岩手発・新幹線 → 大宮駅～長野駅 → 黒部立山アルペンルート → 金沢市内泊
- 10月19日(水)  
ひがし茶屋街・長町武家屋敷・兼六園 → **第68回全国大会** → 加賀温泉郷泊
- 10月20日(木)  
永平寺～東尋坊 → 金沢駅～大宮駅 → 岩手着(※旅程は一部変更になる場合があります。)
- 締切日 平成28年9月2日(金) お問い合わせ先：企画振興部 019-624-1363

## 『新春トップセミナー・新春交賀会』開催のお知らせ

毎年2月に開催しております「組合代表者会議」を装いも新たに下記日程で『新春トップセミナー・新春交賀会』として開催致します。

- 開催日時 平成29年1月11日(水) 14:00～(予定)
- 開催場所 ホテル東日本(盛岡市) ※詳細については、後日改めてお知らせ致します。

## 岩手県中小企業団体中央会 主要日誌 7月

### ■岩手県中央会主な実施事業等

- 7/1 地区別懇談会(盛岡商業)
- 7/4 地区別懇談会(盛岡工業)
- 7/5 地区別懇談会(宮古地区)
- 7/6 地区別懇談会(久慈地区)
- 7/8 地区別懇談会(県北地区)
- 7/11 消費税軽減税率対応窓口相談会
- 7/12 市町村ネットワーク会議
- 7/13 地区別懇談会(県南地区)
- 7/14 地区別懇談会(大船渡地区)
- 7/15 地区別懇談会(釜石地区)
- 7/20 岩手県中小企業青年中央会通常総会

7/22 岩手県中小企業組合士通常総会

7/28 いわて食料産業クラスター協議会通常総会

### ■関係機関・団体主催行事への出席等

- 7/2 ラグビーW杯釜石開催準備委員会設立総会
- 7/7 ふるさといわて創造協議会全体会議
- 7/12 岩手地方最低賃金審議会
- 7/19 中央会東北・北海道ブロック連絡協議会会長会議
- 7/21 (独法)高齢・障害・求職者雇用保険料支援機構運営協議会
- 7/22 岩手新卒者就職・採用応援本部第1回会議
- 7/26 グローカル人材育成に関する意見交換会
- 7/29 岩手県商工観光審議会